

【観光遺産産業化ファンド】 志摩まちづくり株式会社に対する投資実行について

株式会社地域経済活性化支援機構(略称 REVIC、以下「機構」という。)は、株式会社観光産業化投資基盤を無限責任組合員とする「観光遺産産業化ファンド(以下「本ファンド」という。)」にて、2023年3月17日に「阿津里浜リゾート開発株式会社」への投資を実行し、また、同社は「志摩まちづくり株式会社(以下「当社」という。)」へ商号の変更を行いましたので、お知らせいたします。なお今回の投資は、機構が2020年11月16日に三重県、株式会社百五銀行、株式会社第三銀行(※締結当時。現三十三銀行)、桑名三重信用金庫と締結した「三重県における観光による地域活性化」に関する連携協定の活動の一環として行われるもので、本ファンドの第16号案件となります。

市全域が伊勢志摩国立公園に指定され、美しく豊かな海と山の自然に恵まれた地域である志摩市は、豊かな食材と美しい自然景観などの地域資源を活用した観光地として賑わってきました。一方で、志摩を訪れる観光客は特定のエリアや施設に集中しており、また、2次交通網の整備が不十分なこともあり、市全域に広がる自然の景観や体験施設など、志摩の魅力を十分に伝えきれていない状況です。

当社は、この課題を解決するために、志摩市、志摩市商工会、志摩市観光協会、地域金融機関、中日新聞社、大起産業と連携し、市内に点在する自然の魅力を活かし、その多様な楽しみ方を広く観光客に伝え、志摩を訪れる観光客がより深く志摩の自然の魅力に触れる機会を提供します。まず第一弾として、市内南端に位置する阿津里浜にあるオートキャンプ場を改修し、初めてオートキャンプ場を訪れる観光客にも優しいアウトドア体験施設として機能強化をはかり、新たな自然体験型商品の開発などを計画しています。

観光客が志摩の自然を活かした多様な体験を満喫しながら長期滞在し、伊勢志摩エリアの自然、歴史・文化、食などをゆっくりと時間をかけて楽しむ新たな観光スタイルを創ることで、同エリア全体の魅力の底上げを図ります。さらには伊勢志摩国立公園全体にネットワークを広げていくことで、世界の旅行者が長期滞在したいと憧れる国立公園の実現に貢献します。

本ファンドは、今後も地域活性化モデルを各地に展開するために、地域金融機関等に対して本ファンドで得た知見やノウハウの移転を図るとともに、あわせて観光関連産業の活性化においても機構の専門人材を活用したノウハウ移転を通じた支援を行ってまいります。

投資先の概要は以下のとおりです。

会社名	志摩まちづくり株式会社
所在地	三重県志摩市
代表者	代表取締役 世古 勝
事業内容	・オートキャンプ事業 ・志摩市の観光振興に関連する企画・広告・宣伝等 ・地域振興に関する研究・開発・市場調査・販売等 など

【伊勢志摩国立公園 志摩市の自然資源】

横山展望台からの英虞湾の景色



桐垣展望台(ともやま公園内)からの夕日



海女小屋体験施設 さとうみ庵



阿津里浜



【観光遺産産業化ファンドの概要】

<https://www.revic.co.jp/business/fund/36.html>

機構ホームページをご参照ください。

以上

<お問い合わせ先・ご相談の連絡先>

株式会社地域経済活性化支援機構 <https://www.revic.co.jp/>

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-6-1 大手町ビル9階

代表: TEL 03-6266-0310

地域活性化支援本部: TEL 03-6266-0590